

■高楠順次郎 仏教学者、インド学者。「大正新脩大藏經」全85巻を出版。
たかくすじゅんじろう
薩長同盟・1866＝ 備後国御調郡八幡村字簗で、農家沢井家に7人兄弟の長男に生まれる。

明治維新・1868＝ 2歳：

明治6年政変 1873＝ 7歳：

初の民間工場1875＝ 9歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1880＝14歳：小学校教員として働き始める。
明治14年政変1881＝15歳：

近隣出身で、西本願寺を代表する学僧日野義淵(足利義山の子)や山恵覚等の助力もあって、

内閣発足・1885＝19歳：西本願寺が京都に創設したばかりの普通教校(龍谷大学)へ入学、

国民之友始・1887＝21歳：同志を集めて禁酒運動を始め、{中央公論}の前身{反省会雑誌}を刊行。

帝国憲法発布1889＝23歳：普通教校卒業。請われて神戸の裕福な高楠家の婿養子となり、その援助で、
帝国議会始・1890＝24歳：単身で英国に留学、オックスフォード大学でM. ミュラーに師事、

日清戦争始・1894＝28歳：BAを授与されて、英国オックスフォード大学を卒業、
日清戦争終・1895＝29歳：ベルリン大学留学、
白馬会・1896＝30歳：ライプツィヒ大学留学。ドクトル・フィロソフィエ等の学位を授与される。フランスにも留学して、
八幡製鉄始・1897＝31歳：*帰国。東京帝国大学の講師に招かれ、梵語学講座を創設、自ら研究に励んだだけでなく、宇井伯寿、木村泰賢、織田得能、辻直四郎ら多くの逸材を育てて行く。

子規句歌革新1898＝32歳：共編「梵文学教科書」、
Bushidou・1899＝33歳：東京帝国大学教授となる。東京外国語学校校長を兼任。
ビブアノ国産化・1900＝34歳：「巴利語仏教文学講本」。文学博士。日本橋簡易商業夜学校を創設、初代校長に男爵岩倉具威を迎える。

教科書疑獄・1902＝36歳：中央商業学校を創設し校主となる。
日比谷公園・1903＝37歳：南条文雄との共著「仏領印度支那 一名仏国日南の新領土」、
日露戦争終・1905＝39歳：新渡戸稲造との共編「新式日英辞典」。オックスフォード大学から博士号。
満鉄発足・1906＝40歳：エスペ란ティストでもあり、黒板勝美らと共に日本エスペラント協会の結成、東京支部長を務める。

伊藤博文暗殺1909＝43歳：次男八十男が死去。「国民と宗教」、

大逆事件判決1911＝45歳：「国民道德の根柢」、
明治天皇没・1912＝46歳：帝国学士院会員。

第一次大戦始1914＝48歳：木村泰賢と共著「印度哲学宗教史」、
21ヶ条要求・1915＝49歳：「道德の真義」、
民本主義・1916＝50歳：「仏教国民の理想」、

ベルサイユ条約・1919＝53歳：日本エスペラント学会が設立された際は、当初は評議員として参加、
大暴落・1920＝54歳：長女千里が死去。
原敬首相暗殺1921＝55歳：父母ともに死去。

関東大震災・1923＝57歳：四女芳枝が死去。*「大正新脩大藏經」を企画。渡辺海旭とともに責任者となる。
護憲三派圧勝1924＝58歳：「人生に関する講話」「生の実現としての仏教」。武蔵野女子学院を設立。「大正新脩大藏經」刊行開始、
治安維持法・1925＝59歳：三女志津枝が死去。
日本時代始・1926＝60歳：「宇宙の声としての仏教」「仏伝」。日本エスペラント学会の財団法人化後は理事も務めた。
金融恐慌・1927＝61歳：三男増男が死去。東京帝国大学を退職。名誉教授となる。武蔵野高等女学院校長に就任。
共産党事件・1928＝62歳：編「仏教読本」。「聖典を中心としての仏教」、
世界恐慌・1929＝63歳：「人文の基調としての仏教」。『大正新脩大藏經』刊行で、フランス学士院からスタニスラ・ジュリアン賞。

満州事変・1931＝65歳：「仏教の根本思想」。東洋大学第8代学長に就任。
五一五事件・1932＝66歳：「人間学としての仏教」。*「大正新脩大藏經」全85巻の出版完了。{大藏出版}を興こし顧問となる。
国際連盟脱退1933＝67歳：「親鸞聖人」「理の世界と智の世界」、
帝人疑獄事件1934＝68歳：佐佐木信綱と共編「散華法楽集」。「東西思想二千五百年の清算」「東方の光としての仏教」「仏教に現はれたる互尊独尊」、
芥川直木賞始1935＝69歳：「皇紀二千六百年の用意」。高楠博士功績記念会訳編「南伝大藏經」の刊行が始まる。
二二六事件・1936＝70歳：「アジア民族の中心思想 印度篇」「釈尊の生涯」、
日中戦争始・1937＝71歳：
健保+総動員 1938＝72歳：「アジア民族の中心思想 支那・日本篇」「釈迦如来より親鸞聖人へ」「新日本主義と仏教の国家観」「仏教の見方・考へ方・教へ方」。ハワイ大学客員教授となる
第二次大戦始1939＝73歳：妻霜子が死去。「日本精神」「道を求めて」、
大政翼賛会・1940＝74歳：「仏教の真髓」、
日米開戦・1941＝75歳：「南伝大藏經」全65巻完結。
・ ・ ・ ・ ・ 1942＝76歳：「大東亜海の文化」「東西思潮と日本」、
創価学会検挙1943＝77歳：「アジア文化の基調」「世紀に輝くもの」。千代田女子専門学校校長に就任。
年金+総武装 1944＝78歳：「大東亜に於ける仏教文化の全貌」「知識民族としてのスメル族」。文化勲章。
敗戦・1945＝79歳：没した。